

題材「表現を楽しもう」（第4時）

1 本時の学習計画 4時間中の第4時

(1) 学習のねらい

詩を作ったり様々な詩を読んだりする楽しさを知った子どもたちが、自分の詩は何について書いたものなのか友達にクイズ形式で問題を出す活動を通して、自分が思っているよりも詩が身近にあるものだと気づき、今までよりも詩を味わう事が出来る。

(2) 本時の学習材

子どもたちが自ら作った詩

○前回の授業で自分で詩を作った子どもたちは、自分の作った詩を友達に何について書いた詩なのかクイズ形式にして紹介したいと思うだろう。そこで、この学習材を提示する。

○本学習材は、子ども自身が自分で興味のある物などを詩にしたものでありその内容だけを前のスクリーンに映し、その子が何について書いた詩なのかクイズ形式で行う事で、詩を深く読み込むことの楽しさに気付くことが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 自分が何について書いた詩なのか班のみんなでクイズ形式で問題を出し合う。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習問題 のはらうたの工藤直子さんになりきろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・この詩は何について書いているのだろう ○～と書いてあるからこの詩は～について書いてあるんじゃないかな 	20'	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを積極的に考えるように促す。 ・工藤直子さんはどのような表現をしていたかなど問いかける。
	2 各班で二人、全体に共有したい人を選び、その班以外の人に問題を出す。一班終わったら答えを発表する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習課題 友が何についての詩を書いたのか詩を味わいながら考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの班の人と同じ題名なのに詩の内容は全然違ったね。 ・この詩なら絶対に何になりきったか分からない。 ○様々な表現の仕方があるんだね。 ○クイズすることでちゃんと読む気になった。 	20'	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大投影機で問題を出す。 ・自分自身分らないところなどがあつたら流さずちゃんと聞く。 ○何に意識して詩を作ったのか聞いてみる。
終末	3 感想をワークシートに記入		5'	評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 問題を出し合っている様子や振り返りの様子で評価する。 </div>

2 子どもと題材（略）

実際の授業では後半でクイズ問題の出し合いみたいになってしまっていたところがあつたので、最初から全体に問題にするのではなくまず班で問題を出し合うように変更した。自分自身マニュアル通りにしようとしすぎていて子ども考えを曖昧に聞き流してしまった部分があつたのでそこを分かるまでしっかり聞けるようにした